

子ども図書館おすすめの本

～令和2年冬～



中学生、高校生

	題名等	表紙	内容
1	「キネマの神様」 原田 マハ／作 文春文庫		映画は好きですか？40歳を前に、突然会社をやめた娘。映画とギャンブルに依存する借金だらけの父。二人の間に、映画を巡って様々な奇跡が起こります。たとえ映画好きでなくても、読み終わった後、無性に映画が観たくなるでしょう。それも町の小さな映画館で。
2	「さくら」 西 加奈子／作 小学館文庫		ありそうでどこにもない一家の四半世紀にわたる物語。誰もがうらやむ幸せな家庭から一転、兄の死を境に崩壊した家族が、愛犬サクラの異変をきっかけに再生へと向かいます。「家族」とは何か、しみじみと考えさせられる、直木賞作家西野加奈子の初期の名作です。
3	「怖い絵」 中野 京子／作 KADOKAWA／角川文庫		恐怖とは全く無縁と思われていた西洋の名画が、思いもよらない怖さを忍ばせているという驚き。絵の背景にある歴史を理解してこそ浮き彫りになる「絵に隠された暗部」を、ドイツ文学者の中野京子が、深い知識とわかりやすい解説で教えてくれます。心の底からゾッとすると、名画の見方をどうぞ。